須磨区歴史講演会

300名 事前申込

参加費

明治150年記念講演給大商店と須服



開港間もない明治7(1874)年に、神戸で 洋糖引取商として創業した鈴木商店。 大正期には日本一の年商を誇った"幻の 総合商社"が、昭和2(1927)年に破綻 するまでの波乱の歴史に迫る!知られ ざる須磨と鈴木商店の関係とは…!



講師小宮由次氏

日商岩井(現・双日)出身 鈴木商店記念館開設並びに編集副委 員長就任(2014年) 鈴木商店研究 著書「金子直吉」PHPエディターズ・グ ループ(自費出版)(2012年)

平成31年2月10日日

開場 13:00/開演 13:30

場所 須磨区役所4階多目的会議室

(神戸市営地下鉄・山陽電車「板宿駅」下車徒歩5分)

区役所までのアクセス ※会場へは公共交通機関を ご利用ください。



申込方法

神戸市のイベント申込ポータルサイトから お申込ください。



https://kobecity-official-event.jp/form/202

お申込に際してご不明な点がある場合やWebサイトでのお申込が困難な場合は、神戸市イベント案内・申込センターをご利用ください。

※申込期間

平成31年1月7日(月)▶平成31年1月31日(木)

※ご来場案内の送付は行いませんので、特に連絡がない限り、 当日は会場受付へ直接お越しください。

■問合せ

神戸市イベント案内・申込センター ※申込は9:00~ 078-333-3372(年中無休8:00~21:00)

主催:須磨区役所 後援:須磨観光協会

鈴木商店

男"とも呼ばれるようになる。

明治7(1874)年に鈴木岩治郎が神戸に洋糖引取商として創業。

岩治郎の急死により、夫人のよねは経営の一切を金子直吉と柳田富士松の両番頭に託す。

樟脳事業への進出を機に鈴木商店は大きく飛躍し、鉄鋼、造船、化学、繊維など80 社をこえる一大コンツェルンを形成。製造業を次々と立ち上げた金子直吉は"煙突

大正6(1917)年、鈴木商店はGNPの1割相当の売上を計上し日本一の総合商社となる。

一方で、そのあまりの急成長ぶりに妬みを買い、米騒動の際には米の買占めを噂され、本店が焼き打ちにあう。その後も昭和恐慌、関東大震災が苦境に拍車をかけた。そして昭和2(1927)年、鈴木商店は破綻。

破綻後も鈴木商店を源流とした多くの一流企業が、現在も日本をリードしている。数知れない企業と数多の人材を残した鈴木商店という「総合商社」は記憶に留めておくべき歴史上の遺産だといえよう。

<鈴木商店を源流とする主な企業>

双日、神戸製鋼所、帝人、太陽鉱工、IHI、日本製粉、ダイセル、サッポロビール、昭和シェル石油、 J-オイルミルズ、日油





鈴木商店製油所兵庫工場

金子直吉



明治43年の神戸栄町通6丁目



鈴木よね

鈴木商店 記念館 昭和35年、鈴木商店の親睦組織「辰巳会」が結成された。「鈴木商店記念館運営委員会」は、辰巳会内の組織として設立。ホームページ上にある本記念館では、鈴木商店の歴史、人物、企業を紹介する他、鈴木商店関連の史跡が残されている地域をガイドマップ形式に紹介するなど「総合商社、鈴木商店」を広く発信している。